

# 明日の林業は僕たちの手で

## 菊池市の竜門・水南両林研 知事との対話集会で抱負

前夜来の雨が嘘のようにカラリと晴れあがった五月晴れの空の下、知事と林業研究グループとの対話集会在、菊池市古川の野外で開かれました。

この催しは、菊池市の竜門、水南両林研グループが、菊池市竜門、村上新也氏の所有林が、昭和五十五年度の県間伐コンクール特賞林に選ばれたことを機会に開催した、「菊池地区林研合同学習会」に併せて開かれたものです。



当日は、午前中には、受賞の対象となつた間伐林道の現地視察、村上新治氏の体験発表、県林務水産部長を迎えての林業討論会など、林業、林家が当面する課題や悩みについて真剣な研修、討議が続けられました。

午後からは、地元県議、市長、森林組合長なども加わり、新緑目にしむ菊池川のほとりに、林研グループ婦人会手作りの山菜料理を楽しみながら、知事を囲む



懇談会が催され、なごやかな歓談のなかで、明日の菊池の林業を興すための施策と、それをこなす青年達の抱負が熟っぽく語られました。

◇ ◇ ◇

広報外課では、県内各地域の実情を把握し、心のふれあう対話の県政を推進するため、この菊池での催しのような「地域懇談会」を各地で開催していきます。

### 施設 紹介

## 熊本県物産館

熊本市花畑町七一〇  
 (熊本市産業文化会館三階)  
 TEL(〇九六三)五三一―一六八



熊本市の花畑公園前にあつた県物産館は、建設以来二十五年を経過し老朽化がひどくなつていきましたので、今年の三月十五日、熊本市産業文化会館のオープンを機に、その三階へ移転、新装開館しました。

新しい物産館では、食料品から民芸品に至るまで、県下各地の名産品約一、二〇〇種類を取りそろえ、展示即売を行つていきます。

幸い、県内・県外へのお土産品や記念品、贈答品等に最適であるということと、毎日たくさんのお客でにぎわいをみせています。特に、開館から六月末までの入館者総数は、三万五〇〇〇人に達し、昨年一年間の実績をこの三ヶ月間余ではるかに上回る状況になっています。

入館された県外のお客はもちろんのこと、県民の皆様方も一堂に並んだ県産品の優秀さに驚きの目をみはられ、県産品の良さを改めて認識していただいたようです。

物産館内で展示即売されている商品を紹介しますと：

食料品関係では、清酒、焼酎、みかんブランドーなどの酒類をはじめ、素材で自然な味のお菓子やつけ物、ハチミツ、辛子レンコンなど。

民芸品関係では、県内各地の窯元の焼き物(花器、抹茶わん、食器など)や、肥後象がん、天草真珠のアクセサリー、それに手打ち刃物、茶器、すしオ

## 新装オープンしました



ケ、竹まくら、竹カゴなど。

さらに、昔なつかしい素材にふれたキジ馬、花手箱、肥後こまなど郷土がん具や紙とのりだけで作られた山鹿灯ろうなど。

なお、新しい物産館は面積が二百四十七平方メートルとこれまでの一・四倍の広さになっています。しかも辛島公園側に面し、明るくてながめのよいところです。

開館時間は、午前十時から午後六時三十分まで。土曜、日曜も展示即売を行います。県産品の宣伝紹介に努めています。(休館日は毎月第二・四日曜日)

◇ ◇ ◇

また、県では、ここを拠点として「ふるさと祭り」を本年度も引き続き県内で開催するほか、「火の国の観光と物産展」を関西地区で実施するなど、くまもとの特産品の発掘や販路拡大につとめることとしています。